

# 平成21年度に実施する事業概要をお知らせします。

## 主な3つの事業方針

- ★本年は、伊勢湾台風 50 年にあたることから、防災ネットワークの構築検討と、高潮堤防補強工事を進めていきます。
- ★河川整備計画に基づき、河川の維持管理計画の策定、不法係留船対策、河川環境整備事業実施及び自然再生計画の見直しを行います。
- ★国営木曾三川公園基本計画の改訂を踏まえ、七里の渡地区（仮称）の用地確保を進めていきます。

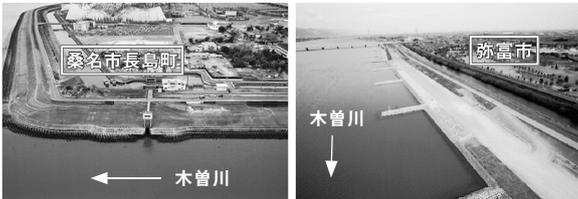
## 【河川事業】

### ①高潮堤防補強の推進で整備率約 90%に

今年度は木曾川右岸鎌ヶ地地区（桑名市長島町東殿名地先）における高潮堤防整備を継続するとともに、揖斐川右岸城南地区（桑名市大字福岡町）、木曾川右岸松蔭地区（桑名市長島町浦安地先）及び木曾川左岸源緑地区（木曾岬町源緑輪中地先）では高潮堤防補強に伴う排水機樋管の改築に着手します。また、揖斐川右岸吉之丸地区（桑名市大字赤須賀地先）では、平成21年3月に水門本体が完成し、高潮堤防整備に着手しており、早期の一連区間概成を目指します。これにより、高潮堤防の整備率は約90%となります（木曾岬干拓地を除きます）。



揖斐川右岸城南地区（桑名市大字福岡町地先）高潮堤防補強に伴う樋管改築に着手。 木曾川左岸源緑地区（木曾岬町源緑輪中地先）高潮堤防補強に伴う樋管改築に着手。



木曾川右岸松蔭地区（桑名市長島町浦安地先）高潮堤防補強に伴う樋管改築に着手。 木曾川左岸五明地区（弥富市五明地先）高水敷整備に引き続き築堤工事に着手。

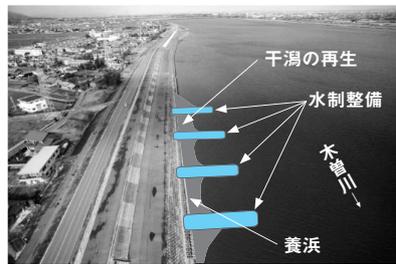
### ②一般堤防の補強、防災拠点の整備で安全度の向上を図ります

堤防の高さや断面が不足している木曾川左岸立田地区、五明地区（愛西市立田町松田地先、弥富市五明地先）、揖斐川右岸深谷地区、福永地区（桑名市上之輪地先、下深谷部地先、桑名市多度町福永地先）、揖斐川左岸本阿弥新田地区（海津市海津町西小島地先）、脇江川右岸中須地区（桑名市多度町中須地先）において、堤防の高上げ・拡幅、高水敷の整備、護岸の整備を実施し、堤防の安全性を高めていきます。

また、高潮や津波による破堤等に備えた資材の備蓄等を目的とした防災拠点を揖斐川左岸白鷺地区（桑名市長島町松蔭地先）において整備します。

### ③環境整備事業で干潟再生、ヨシ原再生を推進します

水質の浄化や河川環境の向上を図り、多様な生物が生息できるような環境をつくるために、長良川左岸においてヨシ原再生事業、木曾川右岸において干潟再生事業を継続して実施します。



木曾川右岸松ヶ島地区（桑名市長島町松ヶ島地先）干潟の再生を促すための水制整備を継続して実施。

## 【国営木曾三川公園整備事業】

### ○桑名市の七里の渡地区（仮称）の用地確保を進めます

国営木曾三川公園は、東海地方の広域的レクリエーション需要の増大と多様化に応えるため、木曾三川が有する広大なオープンスペースを活用しつつ、自然環境や歴史文化そして広域的な広がり・つながりを生かしながら整備を進めています。本年度は七里の渡地区（仮称）の用地確保、カルチャービレッジの輪中ドーム以南地区の整備等及び東海広場の整備を行います。



## 【調査及び計画概要】

### ○自然再生計画の見直しと耐震検討を行ないます

木曾川水系の環境保全のための水質や自然環境などの調査を行うと同時に、自然再生計画の見直しを行います。また、地震により堤防が沈下し、浸水被害が発生することを防止するため、高潮堤防のレベル2地震動（※）対応の耐震検討を行います。

※レベル2地震動：対象地点において現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動

## 【危機管理対策】

### ○伊勢湾台風 50 年の機会に犠牲者ゼロを目指して

伊勢湾台風 50 年であるこの機会に、高潮災害犠牲者ゼロを目指して、スーパー伊勢湾台風を想定し、今後の防災対策のあり方について、地域の方々と共に考え、危機管理対策手法の検討を行います。

# 木曾三川だより

国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所

管内No.121

2009.7



川あそびの時期です  
川のことをよく知り、  
川を楽しもう

自然はケンがいっぱい

## 水災害講演会

# 「スーパー伊勢湾台風にどう備えるか

## ～住民意識調査とシミュレーションにみる長島町防災の現状と課題～

が開催されました。



平成21年6月8日、桑名市長島町長島公民館大ホールにて、桑名市、国土交通省木曾川下流河川事務所、社団法人中部建設協会の主催により、災害への避難誘導策のあり方などを研究されておられる群馬大学片田敏孝教授をお招きして、「スーパー伊勢湾台風にどう備えるか～住民意識調査とシミュレーションにみる長島町防災の現状と課題～」の演題で、講演会を開催しました。

近年の地球規模での気象変動に伴う大規模な自然災害が、日本を始め世界各地で発生しています。このような大規模災害に対しては、人的被害を最小限にするために公的整備のみならず、自助、共助による地域防災力の強化に向けた取り組みが求められます。

そのため、木曾川下流河川事務所では、今年が伊勢湾台風から50年である事を契機に、桑名市長島町などを対象に高潮・洪水災害時における有効な避難誘導策を検討しているところです。

今回の講演は、スーパー伊勢湾台風\*襲来などによる大規模災害に向けた危機管理のあり方の他、本年3月に長島

町の皆様にご協力いただきました「住民の避難に関する意識調査結果(アンケート調査結果)」ならびに「スーパー伊勢湾台風襲来時の被災想定に係るシミュレーション」に関する中間報告について行ったものです。

講演会は、夕方6時45分から開催され、150名を超える主に長島町住民の方々が聴講にお集まりいただきました。

講演内容は、伊勢湾台風の話、自然災害に対する自助・共助のあり方や、意識調査からみる高潮・洪水災害に対する住民の意識についてお話しがありました。

意識調査の結果によると、回答者の4人に1人が災害に対する日頃からの備えを「特に何もしていない」、伊勢湾台風規模の台風が襲来しても「避難しないと思う」などと回答しており、もし、現状の意識のままスーパー伊勢湾台風を向かえたら、**全住民の65%にあたる約1万人が逃げ遅れて救助が必要になることが指摘されました。**

片田敏孝教授からは、伊勢湾台風から50年が経ち、住民の防災意識は低くなっているが、住民の防災意識を高め、地域社会一体となって行政としてすべきこと、住民としてすべきことを検討していけば、犠牲者ゼロは実現できるとお話しがありました。

今後は、関係者で防災対策の検討を行い、9月に最終的な結果を報告する予定です。

※スーパー伊勢湾台風…

昭和34年の伊勢湾台風を超える、これまでわが国で観測された最大規模の台風(1934年室戸台風級)が伊勢湾岸地域に対して最悪のコースをたどった場合の台風

## 木曾三川公園東海広場(東エリア)に ディキャンプ場がオープン!



鉄崎氏の料理教室



ディキャンプ場の様子

4月29日(水)に国営木曾三川公園東海広場(東エリア)【愛知県愛西市立田町地先】においてディキャンプ場(30区画)がオープンしました。当日は晴天にも恵まれ多数の来園者の中、お披露目(くす玉割り)、【講師】鉄崎幹人氏による燻製&ダッチオープン料理教室、鉄崎氏によるトークショー及び地元愛西市商工会による特産品販売等の催し物が開催され、オープンを飾ることができました。

東海広場におけるディキャンプ場は、木曾川の流れを間近に感じながらバーベキューを楽しむことができ、さらにサイト

内に直接車を乗り入れることも可能であるので、まるで自分の家の庭のようにつるぎる環境となっていることから、開園後2箇月間において約7,500名の皆様にご利用いただいております。

今後とも公園整備においては、川や流域のもつ魅力である自然環境を守り・感じ・楽しみ・学ぶ場として整備を進めてまいりますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 河川愛護ポスター募集



7月は河川愛護月間です。木曾川下流河川事務所では、川についての関心を深め、また川を大切にすることを目的に、木曾三川沿いにお住まいの小学生のみなさまからポスターを募集しています。内容は河川愛護やゴミの不法投棄防止に関するポスターです。応募作品の一部はポスターや看板として河川愛護やゴミの不法投棄の抑止活動に使用させていただきます。詳しくは木曾川下流河川事務所ホームページ <http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/> で公開していますので、ぜひご覧ください。

「木曾三川だより」問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 調査課

〒511-0002 桑名市大字福島465 TEL.0594-24-5715 FAX.0594-21-0893

<http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/>